



よろこびと幸せを届ける “Good Times Company” を目指して

カワサキモータース株式会社
代表取締役 社長執行役員

伊藤 浩

はじめに

2021年10月、カワサキモータース(株)は、川崎重工業から分社・独立し、新たな船出を迎えました。まさにその翌月、1972年に導入したモーターサイクルZ1およびZ2が、日本自動車殿堂 歴史遺産車賞を受賞しました。数ある名車の中から、歴史遺産車に選定頂き、あらためて御礼申し上げます。また、今回は“論壇”への寄稿の機会を頂き、心より感謝申し上げます。

歴史遺産車Z1/Z2と米国市場

カワサキの二輪車事業は、多くの自動車会社がそうであるように航空機産業にルーツを持ちます。戦後、航空機生産を禁じられた川崎航空機工業は、1950年前後から、そのエンジン技術を活かして汎用、二輪車用エンジン、については二輪車事業そのものにも乗り出しますが、競争は厳しく、1964年には戦前から続く名門、「メグロ」との経営統合を果たしたものの、不振が続き、何度も撤退が検討されたそうです。その苦境を救ったのが、2014年自動車殿堂入りされた濱脇洋二氏のリーダーシップによる米国市場進出で、成功を決定づけたのがZ1でした。Z1/Z2の開発責任者は、同じく2019年に殿堂入りされた大

槻幸雄氏です。その頃、今では当社のミッションとなっている、“Let the Good Times Roll”というコピーが宣伝に使われるようになりました。これは、商品の優位性ではなく、商品を通じて得られる楽しさ、経験を訴えた、当時としては画期的な宣伝でした。

また1974年には、ネブラスカ州リンカーン市に日本の自動車会社として初となる米国工場を設立しました。その後、当社が最初に市場投入したオフロード四輪車、PWC(Personal Water Craft)といった製品も加わり、更に事業は拡大していくことになりました。こうした事業展開をすすめられた先輩の尽力には頭が下がる思いとしか言いようがありません。

なお、当社の主要ビジネスの一つには、汎用エンジンがあります。汎用エンジンの顧客もやはり、米国の芝刈機メーカーであることも付け加えておきたいことの一つです。

米国市場は、その進出以降、多少の変動はありましたが、継続的に当社の売上の過半を占めてきました。当社は、2030年ビジョンを策定し、同年には売上1兆円、営業利益8%以上を目指していますが、やはり、その成長の中心と期待しているのは米国市場です。当社にとって米国は、実質的に創業の地であ

り、また今後の成長の源泉ともいえる存在です。

カワサキらしさ

カワサキらしさ、とは何だろうか？ 社内でも時々、話題に上ります。お客様からは、良い意味での「やんちゃ」なイメージを期待されていることも多いですが、やはり、Z1/Z2やその後継であるGPZ900R、Ninja H2等の、突出した高性能やそれを体現する意匠によるものではないかと思います。これは、まず第一に究極の性能と信頼性を追求する、航空機産業をルーツとする企業文化に由来するものだと思います。第二は、オフロード四輪車やPWC市場の開拓など、何事も先駆者精神でチャレンジする文化、第三は、“Let the Good Times Roll”、どうせやるなら、楽しくやろうという文化、この三つではないかと思っています。

川崎重工業から分社・独立するにあたり、長年広告宣伝で使われてきた“Let the Good Times Roll”を、「カワサキに関わる人すべての、よろこびと幸せのために」と定義し直して、当社のミッションとしました。馴染み深い言葉の方が心に響きますし、定着しやすい。何より、過去も現在も将来も当社事業の中心である米国市場の開拓期に生まれた、元気の出るフレーズであるという点が決め手になりました。

カーボンニュートラル社会の実現へ向けて

さて、当社も社会の要請に応えるべく、会社を挙げて、カーボンニュートラル社会の実現に取り組ん

でおります。カーボンニュートラルは、電動化のみならず、Eフューエルやバイオ燃料といった代替燃料、そして水素といった、あらゆるオプションを通じて、現実的かつ持続的な努力の中で実現されるものだと思います。

当社は2022年11月にイタリア・ミラノで開催された欧州最大級のモーターサイクルショーにて、EVとハイブリッド車を正式に発表しました。

また、水素燃料やEフューエル、バイオ燃料を使った内燃機関の研究開発も推進しています。内燃機関に共通するエンジン音は二輪車の魅力の一つですし、裾野の広い日本の自動車産業が長年培ってきたノウハウや設備を活用することで、産業全体の競争力と雇用の維持にもささやかながら貢献できると考えています。

先の9月にはモーターサイクル用の水素燃料直噴エンジンの試作機のデモンストレーション走行を実施しました。

おわりに

カワサキモータースは、究極の性能と信頼性をもつ製品を通じて、お客様はもちろん、全てのステークホルダーの皆様によるこびと幸せを届ける“Good Times Company”であるべく、これからも日々挑戦を続けて参ります。

Let the Good Times Roll !!



米国での高い人気を得て、販売台数をのばした Z1



カワサキが最初に市場投入した PWC「ジェットスキー WSA4」



最新のオフロード四輪車「TERYX KRX4 1000」



二輪車用水素燃料直噴エンジンを搭載した研究用バギー車